

(参考様式)

新 町 生 号
令和 7 年 4 月 30 日

内閣総理大臣 殿

新冠町長 鳴海 修司

アイヌ施策推進地域計画 事後目標評価報告書

アイヌ政策推進交付金事業実施要綱（令和元年 9 月 6 日付け府ア推第 5 号）第 3 条第 3 項に基づき、アイヌ施策推進地域計画の事後評価結果について別紙のとおり報告します。

(参考様式別紙)

アイヌ施策推進地域計画 事後目標評価報告書

実施主体名	計画の名称	目標年度
新冠町	新冠町アイヌ施策推進地域計画	令和6年度

1. 目標の達成状況

アイヌ施策推進地域計画における目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B/A	備考
アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業（伝承活動の参加人数）	650 人	669 人	102.9%	
地域内若しくは地域間の交流又は国際交流の推進に資する事業（多機能型交流施設生活館利用者数）	1,500 人	1,305 人	87%	

アイヌ施策推進地域計画における目標	達成状況	備考
アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業（伝承活動）	年を重ねるごとに関係団体の活動の充実や町主催事業を増とし、目標を達成できたと捉えている。	
地域内若しくは地域間の交流又は国際交流の推進に資する事業（多機能型交流施設生活館利用者数）	令和4年9月に施設が竣工し開設。以降、町民等の一般来館や観光客の増加を期待し目標数値を上げていったが、令和6年度は途中、施設付近で熊の出没があったため、一時施設休館が生じ一般利用を休止したため、目標の達成に至らなかった。	

令和4年度にアイヌ文化拠点施設を設け、当年度は主に一般来館と関係団体の活動に使用。令和5年度から上記に加えアイヌ文化伝承活動として一般町民を対象とした事業、教育委員会主催による児童を対象とした文化振興事業を行った。

令和6年度は、さらなる施設の有効活用と事業の充実を図るため、アイヌ若年者と一般町民を交えたコミュニティ活動支援事業を開始し、教育委員会主催の児童を対象とした文化振興事業も継続展開した。充実の向上は図られたと考えるが、今後も参加者の増を図るなど、より充実した展開を図るため、関係団体や学校とも引き続き協議を行っていく。

2. 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

(文化振興事業)

事業の進捗状況	事業実施主体
アイヌ文化の体験交流事業 教育委員会主催により、小学生を対象に体験活動を交えたアイヌ文化学習を行った。(年2回)	新冠町
事業の効果	
学校の要望に応え小学4年生・5年生を対象に行った。町学芸員による文化・歴史の説明や、アイヌ伝説の読み聞かせ、関係団体による舞踊など体験型も交え、児童達のアイヌ文化の関心や学習向上の一助につながっている。	

(コミュニティ活動支援事業)

事業の進捗状況	事業実施主体
アイヌ高齢者のコミュニティ活動支援事業 アイヌ文化の伝統技術を後世に継承するため若い世代を対象に学習会を開催。また、一部の事業では一般町民も交え事業展開することによりアイヌ文化の発信や理解促進につながる。(年8回)	新冠町
事業の効果	
令和6年度がコミュニティ活動支援事業として初年度であった。事業実施することにより、若年者の技術向上、一般町民へのアイヌ文化理解促進につながっており、高齢者の豊富な人生経験が尊重された共生社会を目指す観点からも単年ではなく事業の継続が求められる。	

3. 今後の方針等

(文化振興事業)

事業の充実を図るため、今後も学校や関係団体と協議を行い事業展開していく。

(コミュニティ活動支援事業)

技術向上には継続が必要と捉え、今後も関係団体と事業の検証・協議を行い参加者の拡充を図る取り組みなどを展開し、より充実を図りアイヌ文化の発信や理解促進に努めていく。
